



File  
06

http://www.d-shiroya.jp/

## 株式会社大分白屋 リネンサプライ事業部

- 所在地：由布市挾間町下市285-1
- TEL：097-583-4682
- 事業内容：ホテル用のシーツ・タオル・テーブルクロス・浴衣、病院用の布団・毛布・シーツなどのリース、クリーニング
- 雇用人数：健常者46人 障がい者9人
- 沿革：1930年 創業  
1968年 リネンサプライ部門新設  
1973年 心身障害者雇用優良事業所として労働大臣表彰  
1992年 挾間町にリネンサプライ専用工場完成

### 創業時から障がい者雇用に積極的に取り組み 社会人として「育てる」環境を整える

#### 現在の障がい者の雇用状況等について

##### ■ 雇用している障がい者の状況

聴覚障がい者1人、軽度知的障がい者8人が勤務。年代は20歳代から40歳代。知的障がい者の通勤寮から1人、自宅から8人が通っている。工場内でリネン類を分別する際、大きなシーツを振りさばいたり、腰をかがめて作業したり、荷物を運んだりするため、体力が必要。

##### ■ どんな仕事をしているか

洗濯やアイロン、たたみなどの主な作業は機械化されており、それぞれの機械へのリネン類の投入や、機械から機械へのつなぎの作業を健常者と共に担当。具体的には回収してきたリネン類を、分別して洗濯機に投入する。洗い終わったリネンを大きさや形状ごとに分類する。大型プレス機にかける。たたみ終わったリネンをひもで縛り、配送先ごとの棚に分類して置く、など。



シーツを機械で束ねる作業

#### 障がい者を雇用して良かった点

同社では、「障がい者が、工場内の立ち仕事や使用済みのリネン類を扱う作業などに、マイナスの先入観を持っていないことが、仕事に取り組みやすい点」と分析。機械と機械の作業の谷間を埋めるような単純作業が多く、健常者の人が飽きてしまう業務でも、長く続けられる利点がある。

#### コメント

##### ■ 障がい者雇用担当者

リネンサプライ事業部 課長 赤迫 孝則さん



一個人として理解し、社会人として育てる意識があれば、従業員として十分働ける方たちだと思います。私たちが思う以上に正直で、長くひとつのことを続ける特性があるので、この工場は適所だと思います。

私たちに求められていることは、作業内容をきちんと伝えることや、特性を引き出すことだと感じます。

##### ■ 現職障がい者

梅田 貴弘さん



2006年11月入社。洗濯を終えたシーツなどを、プレス機にかける前に大きさや形状ごとに分類する作業を担当している。働いていて大変なことは、「洗濯物をさばいて分けていくところ」。目標は「お金をためて、一人暮らしをすること」。



Let's Open up  
the future together  
OITA  
2008

#### プロセス

STEP 1

##### ■ 雇用スタート時の状況・雇用を始めようと思ったきっかけ

同社の創業者が、障がい者問題に関心を持っており、「小さな親切運動」などにも積極的に参加していた。

当初は一般のクリーニング業をしており、業務のできる聴覚障がい者などの受け入れを始めた。以来、工場内での立ち仕事ができる障がい者の受け入れを続けている。



STEP 2

##### ■ どんな問題点にぶつかったか

仕事の指示に対して、知的障がい者や聴覚障がい者が「はい」と返事をしているにもかかわらず、内容を正確に理解していないことがある。

機械が特殊なため、知的障がい者には危険な作業がある。



協力してシーツを機械に入れる作業

STEP 3

##### ■ それに対してどんな改善策を取り、工夫してきたか

仕事の指示については、障がい者とのコミュニケーションを良くするため、随時、手話通訳者を依頼したり、家族と連携するなどして、仕事内容を理解してもらうよう努力している。

作業の危険回避については、急に高いレベルを求めると、心の動揺が表れたり、トラブルにもつながるため、2、3ヶ月かけて一つの作業を覚えるようにし、少しずつステップアップするよう指導している。

20年以上経験を積んだ障がい者は、現場の責任者と一緒に作業することで、健常者と同じ業務を担当することもある。

##### ● サポート体制

長年の障がい者雇用の体験から、ほかの従業員や総務担当者にも障がい者への対応のノウハウが蓄積されている。

仕事をしながら、家庭的な雰囲気の中で話しかけたりすることで、業務面だけでなく、生活面でもトラブルを未然に防ぐようにサポートしている。



洗い上がった浴衣をプレス機にかける作業

#### 社内環境

- ・障がい者だからという区別はせず、健常者とともに社内のトイレの掃除当番なども分担している。
- ・同工場で働く健常者も、長年障がい者とともに働いた経験から障がい者への指導のノウハウを身に付けている。
- ・毎年、知的障がい児を対象にした、養護学校の職場体験学習の受け入れを続けており、職場でスムーズに指導ができる。